

6 富士山の世界文化遺産登録に向けて

静岡県からのお知らせ

..... 本年6月の第37回世界遺産委員会で登録の可否を審議

昨年1月に日本政府がユネスコに推薦書を提出し、現在イコモス(国際記念物遺跡会議)による審査が行われています。

今後は、本年5月頃、イコモスによる評価結果の勧告が行われ、6月にカンボジアのプノンペンで開催される第37回世界遺産委員会において、世界文化遺産への登録の可否が審議される予定です。

富士山が世界文化遺産に登録されることは、自然物である富士山が文化性を持つということについて世界的に評価されることであり、大変意義深いものであると考えています。

登録年となる今年、静岡・山梨両県が「富士山の日」として定めている2月23日に、静岡・山梨両県及び認定NPO法人富士山を世界遺産にする国民会議が連携して、東京都内で「富士山の日フェスタ2013 in TOKYO」を開催し、登録へ向けた一層の機運醸成を図るとともに、富士山の世界文化遺産登録に向けた国民運動を全国に発信しました。



国民会議 中曽根会長(中央)と川勝静岡県知事(右)、横内山梨県知事(左)

..... 『富士山世界文化遺産両県県民会議』会員取組事例紹介

このコーナーでは、平成24年2月23日の富士山の日に発足した「富士山世界文化遺産両県県民会議」の会員様の活動事例について御紹介します。

● 富士山を世界文化遺産にする熱海の会 ●

平成18年8月18日に富士山の世界文化遺産登録の実現を図り、観光文化都市熱海の発展に寄与することを目的に設立されました。

これまでに、富士山の日に合わせた講演会の開催や、熱海にゆかりのある「末代上人」について現地学習を含む研究活動及び関係する文化財の保全活動など、世界遺産登録に向けた理解促進、機運醸成に係る様々な取組を進めています。

昨年11月25日には、末代上人の足跡を辿りながら、富士山の構成資産を巡る学習会を開催し、富士山と信仰について理解を深めました。



富士山を世界文化遺産にする熱海の会の皆さん。